

SERIES

みんなが優しくすまむち

うるおい 環境都市むこう

環境 ENVIRONMENT 静けさを確保し、音風景を残していくために 家の外から生活騒音を再点検してみましょう

一般家庭から出る生活騒音は、本人(発生源)が意識しないうちに近隣に迷惑をかけています。市に寄せられる騒音に対する苦情が多いのが「ペットの鳴き声」「エアコンの室外機」など、一般家庭からのものです。近所付き合いもあり直接言いにくいので、市に相談されるようです。知らないうちに迷惑をかけていないか、家庭から出る音を再点検してみましょう。

ペットは愛情をもって飼いましょう



ペットの鳴き声で、最もトラブルになるのが「犬のむだぼえ」です。近隣住民の安眠を妨害したり、勉強を妨げたりします。犬を飼っていない人にとっては、犬の鳴き声は堪え難い騒音になります。犬が吠える主な原因はストレスです。十分な世話をしないために、

ストレスがたまってしまいます。飼ったからには、最後まで愛情をもって世話をしましょう。

近隣を悩ませる室外機の低周波音

エアコンの室外機、冷蔵庫、洗濯機などの家電製品からは低周波音が発生しています。低周波音は、振動に近い低い音で、窓や壁も通過しやすい音です。ストレス、不眠、頭痛の原因と考えられています。特にエアコンの室外機は、場所によっては、隣家に騒音被害が発生するので注意が必要です。取り付ける場所は、近隣のことも考慮して決めましょう。

そのほか次のような行動をしましょう

- 自家用車の定期的な整備や騒音発生防止に向けた管理を行う。
- ピアノやステレオなどの楽器や音響機器は、使う時間や音量を考える。

お問い合わせ 環境政策課環境対策係(内線232)



健康 HEALTH 年々外であそぶ子どもが減っています 外で遊ぶことで、子どもは体をつくり、多くのことを学びます

子どもにとって「あそび」は、体や心を育てる栄養源であり、欠かすことのできない必要なものです。

子どもは歩けるようになると活動の場を広げ、興味もぐんと広がり好奇心いっぱい、手や服が汚れるのもおかまいなしに、色々なものを触りながら経験を豊かにしていきます。日中に外であそび、さまざまな体験をする中で、からだの使い方を学習し走ったり、飛んだりしながら

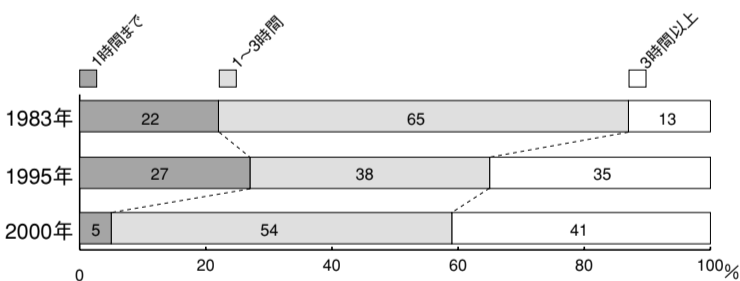
筋力や持久力・バランス感覚などを身につけたり、風邪などにかかりにくくなる免疫力などを身につけて健康な体をつくっていきます。また、大人や友だちとのやりとりを通してことばを育て、社会のルールなどを学んでいきます。

最近の幼児のあそびを見ますと、外遊びの時間が減っているのに対して、「テレビやビデオの視聴時間」(グラフ参照)が年々長くなり約4割の子どもの3時間以上利用しているなど、

戸外で体を動かしてあそぶより家の中でテレビやビデオを見て過ごす時間の方が多くなっているようです。

子どもの心や体を健やかに育てるには、お母さんやお父さん、お友だちなどさまざまな人の働きかけが一番大事です。日中は外であそび、テレビは時間を決めて、つけっぱなしにしないようにしましょう。

3歳6か月児のテレビ・ビデオの視聴時間の推移



お問い合わせ 健康管理課(内線333、338、339、357)



BOOKS INFORMATION 新着図書のご案内

PICK UP

【児童図書】



「よわむしらいおん」

八木田宜子・文 長新太・絵 徳間書店

「ぼく」は、らいおんがだいすき。かっこよくて、やさしくて、おまけに力持ち。そんな、らいおんと「ぼく」のゆかいなおはなし。

一般図書

- 好きなことだけやればいい 中村修二著 バジリコ
- 私らしく生きたい 郡司ななえ著 アールズ出版
- 思いやりを育てるしつけ51のヒント 中井俊巳著 学陽書房
- 果てしない宇宙のなかで思う未来のこと 毛利衛ほか著 数研出版
- スモックブラウス&ワンピース ブティック社
- 今森光彦とめぐる里山の四季 平凡社
- 民族楽器を楽しもう 若林忠宏著 ヤマハミュージックメディア
- イラストでわかるストレッチングマニュアル マイケル・J・オルター著 大修館書店
- 妖恋 北原亜以子著 集英社
- 本能寺の変 津本陽著 講談社
- 老いてはカメラにしたがえ 赤瀬川原平著 実業之日本社
- その腕のなかで カミュー・ロランス著 新潮社

児童図書

- 教えて!21世紀星空探検隊全10巻 藤井旭著 偕成社
- その夏ぼくらがしたこと 内海隆一郎作 PHP
- ぶなぶなもりのくまばあば 高橋たまき作 あかね書房
- ありがとうをわすれると 山下明生作 学研
- だるまの神さま コルネリア・フンケ著 WAVE出版
- ナイナイとしあわせの庭 キティ・クローザー作 徳間書店
- 月夜のじどうしゃ 渡辺茂男文 井上洋介絵 講談社
- もう一羽のがちょう ジュディス・カー作 評論社
- あなたの小さかったとき 越智登代子文 藤枝つう絵 福音館書店
- むしゃ!むしゃ!むしゃ! カンダス・フレミング文 G・ブライアン・カラス絵 BL出版
- あなたがだいすき 鈴木まもる作 ポプラ社
- なつのはな わたりむつこ文 本庄ひさ子絵 リブリオ出版

お問い合わせ 図書館 ☎931-1181



10月から市制施行当時の広報紙をご覧ください

広報紙の既刊分を創刊号からホームページで復刻

昭和29年6月の創刊から48年を数える「広報むこう*1」。市の変遷を知る上で貴重な資料である、この「広報むこう」の既刊分を10月からホームページ上で復刻します。市制施行30周年を機に、「向日市の歩み」を後世につなぎます。

市制施行当時と現在をつなぐ

市制施行から30年が過ぎようとしており、若い世代など、当時の様子を知らない人が増えてきました。市制施行に際しては、昭和46年から47年に「市制特集号」などが数回発行されており、向日町から向日市に移行していった経過を知ることが

できます。

市制施行当時と現在をつなぐため、復刻のスタートとして、まず市制施行日の10月1日に「昭和46年から47年の広報紙」をお届けします。当時を知らない人はもちろん、当時を体験した人もぜひご覧ください。

創刊号「町のあゆみ」を11月に

11月からは毎月1日に定期的に残りの既刊分をお届けします。

*1 創刊当時の名称は「町のあゆみ」でした。以降「広報向日町」「広報向日市」、現在の「広報むこう」に変わっています。

市制施行30周年記念 30th ANNIVERSARY

